

発明の名称

堆肥製造装置、堆肥製造方法、及びプログラム

～堆肥化の消費電力量を抑制しつつ、導入コストを低減する技術～

発明者

宮竹 史仁（帯広畜産大学）

技術概要

堆肥製造において、最適な制御条件を見出すことができました。単位時間あたりに送気する送風機の送気量を一定にしておき、堆肥材料の温度が比較的低いときは送風機の作動時間（ON時間）を作動しない時間（OFF時間）に対して長くし、温度が比較的高いときはOFF時間に比べてON時間を長くします。送風機のON時間とOFF時間は、送風機のON時間を、ON時間とOFF時間の合計時間で割った割合であるデューティ比に基づいて決定します。

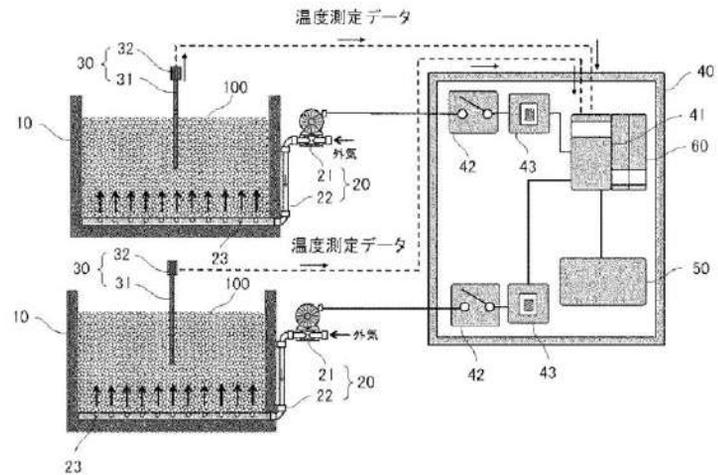
発明の目的

本発明は、堆肥材料の堆肥化による消費電力量を抑制しつつ、導入に伴うコストを低減できる堆肥製造装置、堆肥製造方法、及びプログラムを提供するものです。

効果

堆肥材料の温度に応じて送風機が間欠的に動作するように制御するため、消費電力量を抑制でき、高価な部品を採用する必要がありません。また、堆肥の安全性、適正な水分量を確保しつつ、 N_2O 、 CH_4 、 NH_3 の排出量を抑制できます。

図面



詳細はこちら

工業所有権情報・研修館のサイトに移動します

出願・登録

出願日	設定登録日	存続期間満了日
2017/3/28	2021/5/26	2037/3/28